第３学年　数学科学習指導案

指導者

１　日　時　令和４年12月9日(金)　第4校時(11:30～12:20)　　場　所　3年1組教室

２　単元名　相似な図形

３　本時の指導

(1)　主題名　相似な図形の利用

(2)　ねらい ・　話合い活動を通して，課題解決に向けた見通しを持つことができる。

・　身近にある事象を，相似な図形の性質を使って解決することができる。

(3)　準備物　パソコン，電子黒板，定規，ワークシート，1人1台端末

(4)　展　開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | T | 形態 | ○指導の工夫　　※指導上の留意点 | ◎評価 |
| １　ねらいを把握する。  ２　課題を知る。  ビルの屋上から見える花屋さんの場所を特定するには、どうすればいいだろうか。  ３　班で話し合い、課題解決の見通しを持つ。  ４　班で話し合った課題解決の見通しを発表する。  ５　花屋の場所を求める。  ６　求め方を発表する。  ７　本時のまとめと自己評価を行う。 | ５  10  10  10  ５  ５  ５ | 一斉  班  班  個人  一斉  一斉 | 「相似な図形の性質を利用して、直接測ることができない長さを測ってみよう。」  ※　スライドを使用し、課題を把握しやすくする。  〇　この状況を自分のことと捉え、どのようにして求めるのか。分からないことや必要な情報はないかを考えさせる。  ※　タブレット端末を使い、班ごとにジャムボードを共有して話し合う。  ※　これまでの相似の学習を振り返り、何が分かればその場所を特定できるか、解決の見通しを持たせる。  ※　話合いの状況を見て解決のヒントを与える。  〇　各班の代表者にジャムボード上で説明させる。  ※　見通しの発表順は３の活動内容を見て決める。  ※　問題解決に必要な数値を提示する。問題の意味がつかめたら机を元に戻す。  〇　相似な図形の性質を利用して場所を求めさせる。  〇　黒板に解答を書かせ、説明させる。  〇　本時のまとめをし，ロイロ・ノートの自己評価カードに評価を記入させる。 | ◎　既習事項を根拠にして課題解決に向けての見通しを持つことができたか。  ◎　相似な図形の性質を使って課題を解決することができたか。 |

研究の視点　・　話合いに積極的に参加し、課題解決に向けての見通しを持つことができたか。

　　　　　　・　既習事項である相似な図形の性質を本時の課題に活用し、解決することができたか。

* ICTの活用は、効果的で適切であったか。